

目標があったからでしょう。しかし、独立当初は仕事がなく困りました（笑）。若いというだけで信用していただけないなど、悔しい思いもたくさんしましたよ。ただ、以前からのつながりで大手ゼネコンからの仕事をいただけるようになってからは、一つひとつを地道に、そして丁寧に手掛け、いつしか当社も成長していたのです。

大西 なるほど。やはり若くして独立された経営者の方は、若さ故に歯がゆい思いを味わってしまうのですね。

安方 そうですね。でも、それが逆にハングリー精神につながった部分もあります。独立という目標をクリアした後は、「まず高森町で1番の工務店になろう」という新たなハードルを設定。そのためには資格なども必要になると思い、さまざまな勉強にも取り組みました。地域で1番になる近道はありません。毎日の努力が必要なんです。努力したことはいつか必ず役に立ちます。そう思いながら、地道に頑張ってきました。3人ほどではじめた当社も、今では20人以上を抱えるまでに成長しました。

術の継承という観点から、務だと言えるでしょう。たことに、最近は大工を目指若者も多いんですよ。当社のいい人材がおり、一生懸命学ばすね。一人前になるまでたいという思いから、寮をまた、技能オリンピックに県代表の一人に当社のスタッフました。そういった高度な後進に伝えられるよう、職るのも私の役割だと感じて

大西 社長は現在も現場にるのでしょうか。

安方 さすがに現場で作業はほとんどなくなりまし一つひとつの現場の状況をに、まわっています。たいには5名ずつほどの班分け場に向かってもらうのですうのは一つとして同じものから、常に皆の動きや作業知り、適切な指示を出して社のスタッフたちは皆現場事に取り組んでくれていま

COMPANY PROFILE

総合建築業・プレカット・木工所・製材所

 **有限会社 安方工務店**

1級建築士事務所

熊本県阿蘇郡高森町大字色見 1149-1

TEL 0967-62-3350

URL: <http://www.yasukata.co.jp>

人材育成が急
だ、うれしい
したいという
にも何名か若
んでくれてい
きちんと育て
開設しました。
出場する熊本
ップが選ばれ
技術が正しく
現場環境を整え
います。

立っておられ
にあたること
たね。しかし、
把握するため
いていスタッフ
を行い、各現
が、現場とい
はありません
の進捗状況を
おります。当
場で一生懸命仕
ます。そんなス

らとって、高いだけなら必要ないと感じる人もおられるでしょう。建築業界はまだ厳しい情勢が続いていますが、コストの削減という企業努力を怠ってはならないんです。ただ、それだけを追求していてもいけない。そこで、当社では質の良い材木を自社で製材し、自社の建築工事に活かすことで、材料費をできる限り抑えることを目指しました。そして自社で材木を調達することの最大の利点は、お客様により信頼していただけること。お客様の信用は当社が一番の財産。お陰様で仕事も順調に増えています。

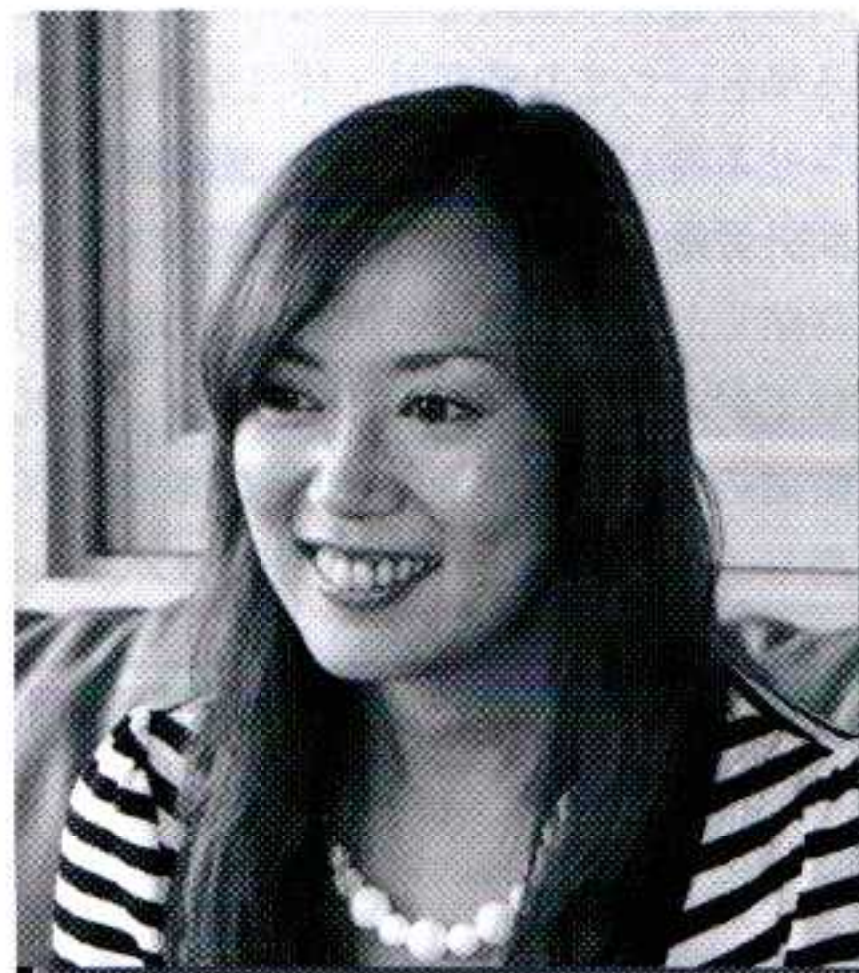
大西 それは素晴らしい。それでは最後に、今後の展望をお聞かせ下さい。

安方 年商目標や建築棟数などの数字も具体的に掲げ、実現できるようにスタッ

大西 経営者として人材育成については
いかがお考えでしょうか。

安方 人を育てることは大切なことだと
痛感しています。特に建築業界では、技

タッフの姿を見るとうれし
大西 現場に社長がいら
スタッフの皆さんにはよ
とでしょう。ところで「
さんは、製材なども手掛
家づくりを行っておられ
安方 はい。家は一生で
かというほど大きな買い
ろう悪かろう」では困りま



「価格は、安くす

▼安方社長は一度、大きな
大きな負債を背負ってしま
は「お前、絶対に辞める
お金をつくってくださっ
たが、社長の心にはお金で
教育施設や温泉施設とい
ことができたとのことで
るためにできる限り価格
とになりました。しかし
ように。その思いは現在の

能

工

巧匠

ゲストインタビュアー
大西 結花

いですね。
っしゃるなら、
い刺激になるこ
有安方工務店」
け、トータルな
らそうですね。
度あるかない
物です。「安か
ますよね。だか

フたちと共に頑張っていきたいと考えて
います。先ほども申しましたとおり、建
築業界は以前として厳しい状態が続いて
おりますが、当社は絶対にリストラをし
ないと決めているのです。当社は人を大
切にする会社でありたい。スタッフたち
は私の家族のようにかわいい存在です。
これからも一緒に歩き続けます。

(取材／2007年8月)

一意

専心

るだけでは意味がないのですね」

なピンチを経験しておられます。30代半ばの時、社長は
まいました。それをお父様に正直に話したところ、お父様
んじゃないぞ」と励まし、負債の半分を返済できるだけの
たそうです。そのために家の田畑は売却されてしまいました
は換算できないものが根付いたことでしょう。そんな折、
ら大型の工事を受注。返済は滞ることなく、順調に終える
良かったですね。競争が激化する建築業界で、仕事を得
を抑えなければと無理をした結果、社長は負債を背負うこ
それ以来社長は、“適正価格で質の高い仕事”を考える
のコスト削減にもしっかりと反映されています。

